

フレッシュ研修（2年目研修）報告

寺師 駿（商業科）

1 はじめに

私は、令和2年度鹿児島県教員採用試験に合格し、昨年度から鹿児島県立奄美高等学校に勤務することになった。赴任先を知った瞬間、奄美大島という離島への期待とともに、不安も感じたことを今でも覚えている。昨年度は、新任教師1年目として初任校1年目研修に励んだ。指導教官の先生方をはじめ、多くの先生方から指導助言をいただき、大変学ぶことが多かった1年である。本当に感謝してもしきれない。しかし、新型コロナウイルス感染拡大によって、校外研修等が一部中止、縮小開催となったことが残念であった。奄美高校での1年目研修を終え、いよいよ令和3年度から初のクラス担任を持つことになる。クラス経営や授業、学校行事、校務、研修など、生徒ともに忙しく過ぎ去ったこの日々を振り返り、次年度へつなげていきたいと考える。

2 フレッシュ研修の研修体系（高等学校）

	校内における研修	校外における研修
初任校1年目研修	1. 基礎的要素 2. ホームルーム経営 3. 教科指導 4. 特別活動 5. 生徒指導・キャリア教育 6. 総合的な探求の時間	・基礎研修 ・県総合教育センターにおける研修 ・研究授業研修 ・他校種参観Ⅰ ・他校種参観Ⅱ ・一年目課題研修
初任校2年目研修 【今年度】	・二年目課題研修 ・研究授業研修 ・個別研修	・地域貢献体験研修 ・人権教育教職員等研修
初任校3年目研修	・研究授業研修 ・個別研修	・なし

3 今年度の現状

(1) 校務分掌

2年4組 情報処理科 正担任
教務部 地域協働係
生徒指導部 特別支援通級指導係
保健部 環境美化係
バドミントン部 正顧問

(2) 担当科目

ビジネス基礎（2単位）、課題研究（2単位）、総合実践（2単位）
財務会計Ⅰ（3単位）、原価計算（3単位）、プログラミング（3単位）

5 2年目研修【校内】

(1) 研究授業

今年度は、1回の研究授業を行う。(2月実施予定)財務諸表を使って企業の分析を行い、今後、就職する上で、企業選定の際に財務諸表を分析できる力を身につけさせたい。タブレットや大型提示装置を活用し、生徒が楽しみながら学べる授業を心掛けたい。

(2) 個別研修(5時間)

ア 通級による指導と合理的配慮の提供(北川指導主事)【4月27日(火)】

イ 人権同和教育研修(村田指導主事)【6月22日(火)】

ウ サービス規律(金井教頭先生)【6月23日(水)】

エ いじめへの対応(金井教頭先生, 久保先生)【10月13日(水)】

オ 地域協働について(金井教頭先生, 西山先生, 平川先生, 国分先生)【10月14日(木)】

(3) 2年目課題研修

ア 研究主題

「主体的に生徒が互いに学び合う簿記の授業の進め方や、教材開発等の研究」

イ 研究成果

新型コロナウイルス感染拡大により、計画していた研究会などが中止となり、なかなか思い通りに研究を進めることができなかった。しかし、校内研修で学んだタブレットによるGoogle ClassroomやGoogleフォームなどを活用した授業や課題提供を少しずつ取り入れている。一斉授業の段階で理解できなくとも、Google Classroomに復習用の資料や練習用課題を添付すれば、自宅で自分のスマートフォンやタブレットを使って復習をすることができる。少しずつではあるが生徒の取り組む姿勢が変わってきていると感じる。また、授業時の教材の提示には大型提示装置を用いて、生徒に視覚的に伝えられるよう取り組んでいる。今後も様々な特性に応じた授業や効果的な教材の作成を研究し、生徒の深い学びにつなげていきたい。

6 2年目研修【校外】

(1) 地域体験研修

地域の福祉施設、企業、農家等で体験活動を実施することにより、郷土のよさを理解し、地域に根ざした学校教育を推進するとともに、キャリア教育の視点に立って、社会に視野を広げる機会である。当初計画していた企業は、新型コロナウイルスの感染拡大により受け入れ不可となった。現在もコロナウイルス感染拡大の影響を受けており、なかなか引き受けてくださる企業が見つからない。その中でも2日間、下記の企業には貴重な経験をさせていただき、大変勉強になった。

ア 研修企業

「有限会社 富田酒造場」(12/2~3 2日間)

イ 研修内容

酒造倉見学, 焼酎製造工程の説明, 瓶洗い, 瓶詰め, ラベル貼り, 発送準備, 廃酒処分など

ウ 感想

酒造会社の仕事に触れてみて、はじめて知ることが多く、作り手の思いや工夫, 苦労など肌で感じる事ができた。原材料の黒糖や米にこだわっており、他の酒造会社と差別化を図るために

様々な工夫をされていた。原材料の黒糖は黒糖協会から各酒造会社に配当されるため、希望した黒糖が入ってくるとは限らないといった課題があるとのことだった。また、製造工程で大量の廃酒が残り、これの処分においても課題だという。栄養価の高い廃酒をそのまま川や海へ流してしまうと、環境汚染となってしまう。SDGsの観点から、現在は笠利のサトウキビ畑の肥料として流している。このような課題を生徒たちと共有し、解決策などを考える機会を作っていきたい。本当に学ぶことが多かった2日間であった。

(2) 人権教職員等研修 (Web 会議システムにて視聴)

ア 期日・会場等

期日 令和3年6月1日(火)

会場 鹿児島県立奄美高等学校会議室

イ 趣旨

採用2年目の教職員等に対して学校教育における人権教育推進に関する基礎的・基本的事項について研修を実施し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めさせることにより、人権教育の充実を図る。

7 クラス経営

今年度より、はじめて担任を持つことになる。クラスは昨年度副担任、教科担任として受け持った、情報処理科2年4組40名(男子27名、女子13名)である。40名となると、本当に教室が狭く感じる。クラスの雰囲気は男女ともに仲が良く、検定や学校行事など一生懸命取り組むことができるクラスである。誰かが困っていると手を差し伸べてくれる良さがある。私がこの1年間でまず心掛けようと思ったことは、教室の整理整頓である。生徒が学校生活のほとんどを教室で送るため、その環境を整えることを生徒とともに取り組んでいる。常に生徒には「先を見据えて行動する」「逆算して計画を立てる」「自分の行動に責任を持つ」といったことを伝えている。少しずつではあるが、成長が見られてうれしい。来年度は最終学年として、奄美高校情報処理科の看板を背負って、自分の進む進路を切り拓いてほしい。



【4月始業式】



【かばん棚・掲示物】



【授業時のクラス】



【検定前はみんなで教え合う】

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大によって、多くの学校行事が中止、縮小となった。今年度は昨年度実施できなかった行事を生徒と楽しむことができた。生徒の思い出に少しでも関わることができて、本当に良かった。



【クラスマッチ】



【体育祭】

8 おわりに

1年目とは違い、今年は私自身、本当に学ぶことが多い年となった。初めての担任として、生徒や保護者へ不安を与えることがないよう、周りの先生方の協力をいただきながら全力で努めてきた。生徒を常に観察し、時には叱ることもあれば、寄り添って話を聞くこともあり、思い通りにいかないことが多かった。しかし、以前よりも生徒と接する機会が増え、間近で生徒の成長を感じることができ、やりがいを感じている。今後も、生徒や保護者とも真摯に向き合い、高校教師として恥ずかしくないよう自己研鑽に努め、生徒とともに成長していきたい。